

受動部品事業について

取締役/常務執行役員
荒谷 真一

将来に関する記述についての注意事項



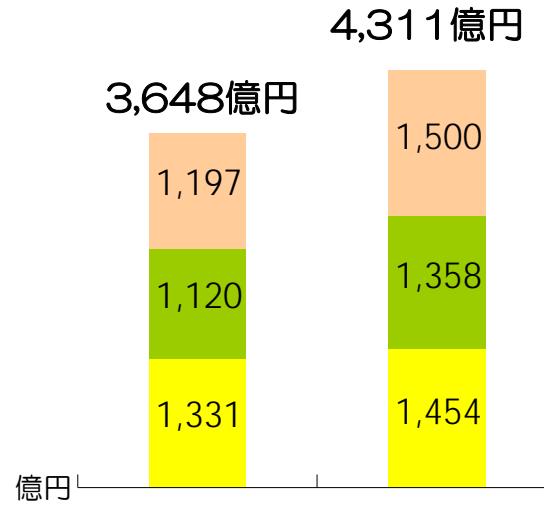
この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または默示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与える上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

受動部品事業について

受動部品事業売上高



◆受動部品セグメント

売上高：4,311億円、前期比18.2%増

営業利益：247億円（前期は103億円の営業赤字）

＜受動部品セグメントの内訳＞

◆コンデンサ事業

売上高：1,454億円、前期比9.2%増

セラミックコンデンサが、通信機器及び自動車市場向けに増加
アルミ・フィルムコンデンサが、産業機器市場向けに大幅に増加

◆インダクティブデバイス事業

売上高：1,358億円、前期比21.3%増

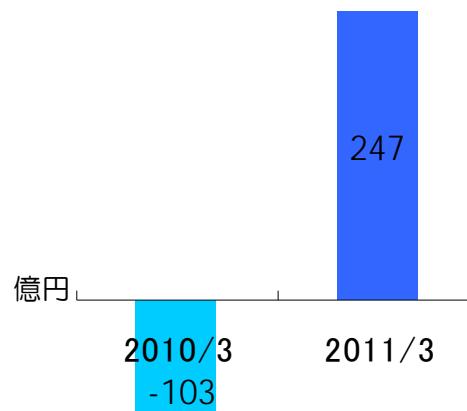
スマートフォンを中心とした通信機器市場向けの販売が大幅に増加
自動車及び産業機器市場向けの販売も堅調に推移

◆その他受動部品事業

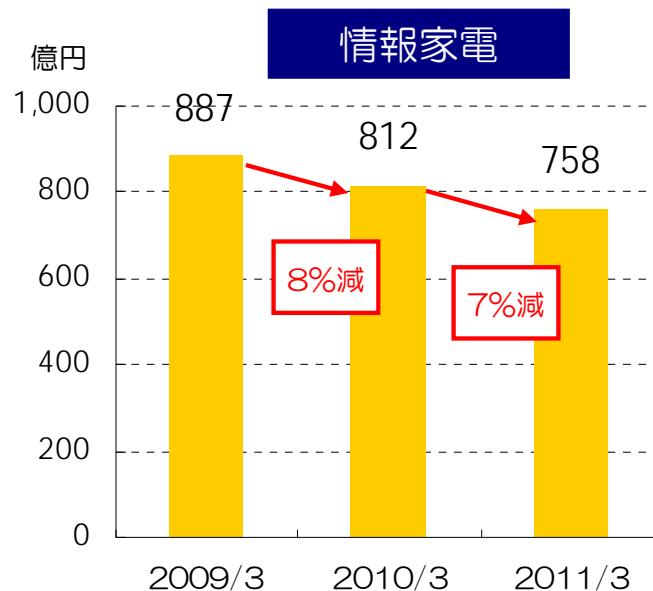
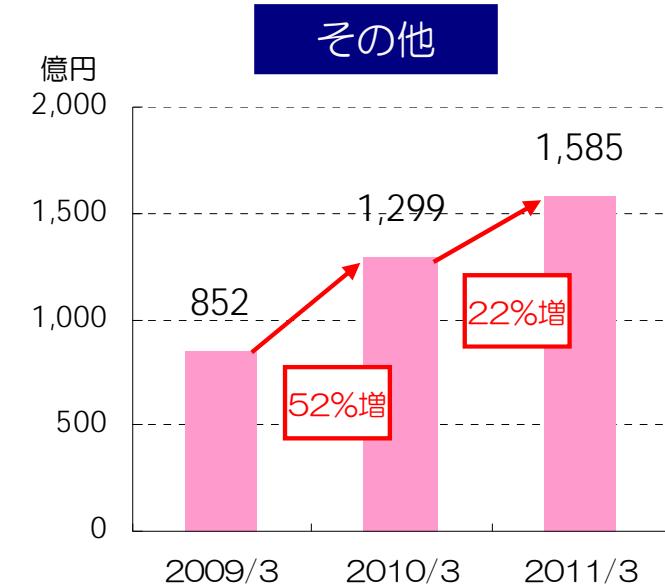
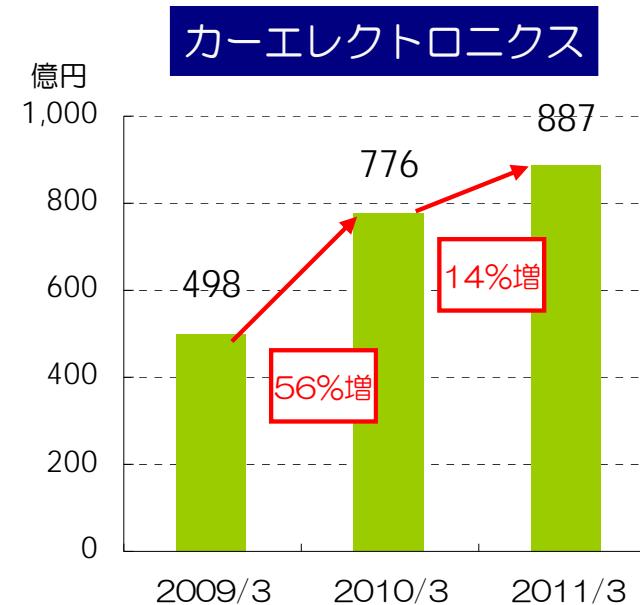
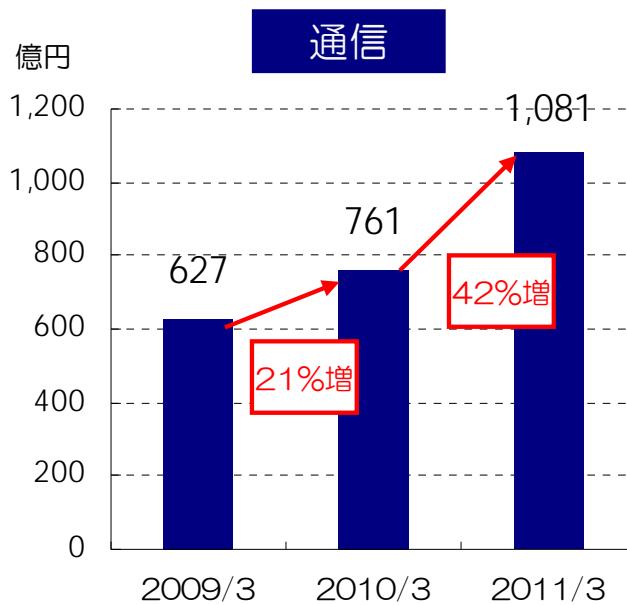
売上高：1,500億円、前期比25.2%増

高周波部品が、スマートフォンを中心とした通信機器市場向けに増加
圧電材料部品及び回路保護部品が産業機器市場向けに増加

セグメント利益



受動部品事業・分野別売上高の推移



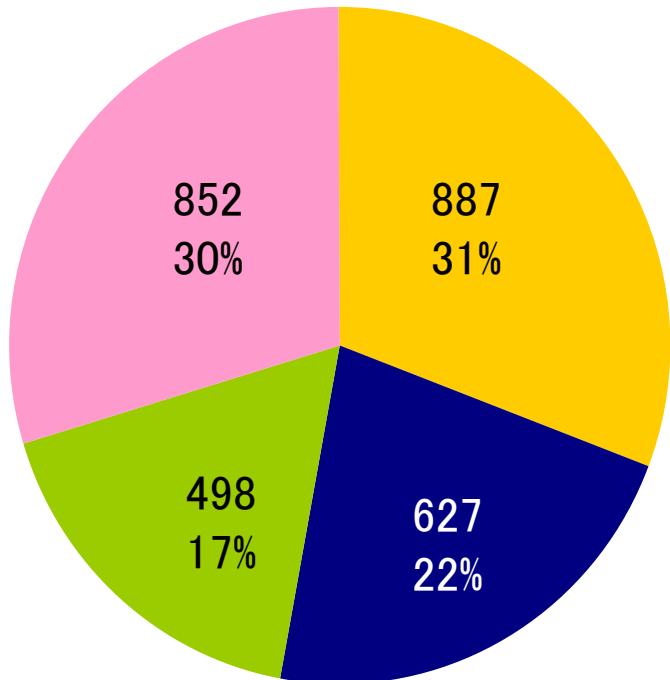
重点3分野の売上が大幅に増加

1. 通信
2. カーエレクトロニクス
3. その他 (再生可能エネルギー、産業機器などを含む)

※2009年3月期の下期よりエプコス連結

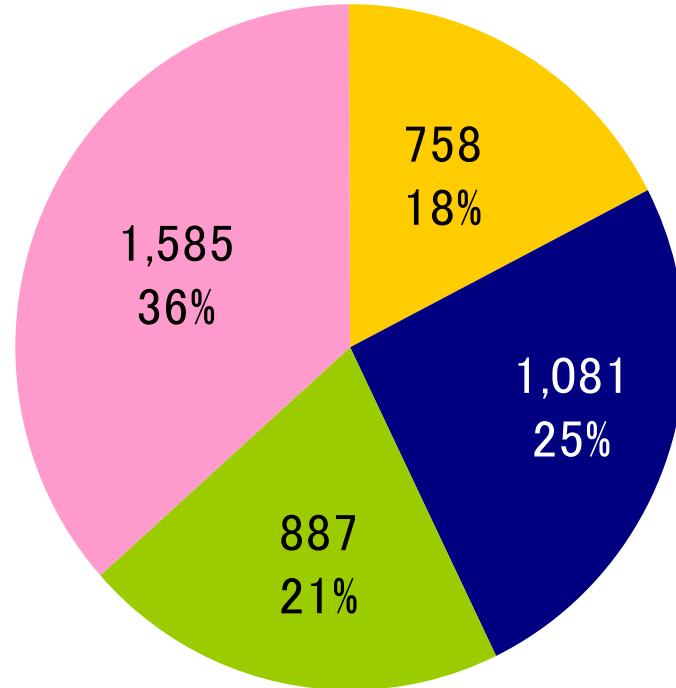
分野別売上構成の変化

2,864億円



2009年3月期

4,311億円



2011年3月期

- ・売上の増加に伴い分野別構成比が変化
- ・情報家電分野以外の3分野の構成比が2009年3月期の69%から2011年3月期には82%まで拡大

